特記仕様書

令和4年度Ver

契約番号	2022108593
工事名	緑町2丁目地内配水管布設工事

(適用範囲)

第1条 この特記事項以外は下記を準拠する。
 ・安城市契約規則、安城市工事等施行に関する事務取扱要領、工事監督要領及び設計変更事務取扱要領
 ・工事請負契約書
 ・愛知県企業庁発行土木工事標準仕様書
 なお、土木工事標準仕様書は、愛知県企業庁ホームページにて、最新のものを確認すること。

(公表歩掛の参考明示)

第2条 この設計書に記載される歩掛等は、標準的な施工方法を参考明示したものであり、設計図書に特別の定めのある場合を除き、指定するものではない。

(施工条件の明示)

第3条 下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件であり、特記仕様書として明示する。
 なお、参考明示○印該当欄は、積算上の条件明示であり、指定するものではない。

大項目	中項目	適用項目	小項目	明示事項	内容	参考明示					
I	工法関係	①	工事施工関係	1	工法指定	指定工種及び工法 工法指定する理由					
				2	仮設工事	仮設工法 仮設工法選定条件					
				3	仮設備	仮設備の構造					
						仮設備の施工方法 仮設備の設計条件					
				4	薬液注入	設計の前提条件					
						施工区分					
						材料種類					
						施工範囲 削孔本数及び延長 注入量及び注入圧 周辺環境調査の内容					
		5	現場発生品	品名・規格・数量 引渡場所・運搬距離 再使用の有無							
		6	支給品及び貸与品	品名・規格・数量 品質・性能 引渡場所・運搬距離							
		7	部分使用	部分使用箇所							
				部分使用時期 部分使用目的							
		8	振動測定	振動測定							
		②	工用道路	○	1	一般道の使用	搬入経路	現道使用			
							搬出経路	現道使用			
							使用期間	工事期間中			
							使用時間帯	9:00～17:00 昼間施工			
				使用中・使用後の処置内容	使用後の補修は監督員と立合い協議すること						
				2	仮道路	仮設道路の構造					
		安全施設等の設置内容 安全施設等の設置期間 工事終了後の存置・撤去 維持補修の内容									
		③	品管	1	品質管理	品質管理に関する条件					
		II	工程関係	①	関連工事	○	1	関連工事	関連する工事名及び発注者	給水新設工事・アクトフィールド株式会社	
									関連する工事内容	給水引込	
									調整結果内容	工事業者にて調整	
施工に係る条件											
管理者名											
協議結果内容											
2	公共補償工事等 他管理者協議					施工に係る条件					
						協議成立見込時期 (未了の場合)					
						協議結果内容					
3	占用支障物件協議					占用支障物件名					
						協議結果内容					
						施工に係る条件 協議成立見込時期 (未了の場合)					

大項目	中項目	適用項目	小項目	明示事項	内容	参考明示																																							
	②	建設廃棄物	○ 1 建設廃棄物の処理	<table border="1"> <tr> <td>建設廃棄物の種類</td> <td>数量</td> <td>処理等施設 処理等施設</td> <td>片道 運搬距離</td> <td>処理方法 受入条件等</td> </tr> <tr> <td>建設汚泥 (舗装切断等に係るもの)</td> <td>0.2m3</td> <td>中間処理施設</td> <td>50km以内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>As塊</td> <td>2.9m3</td> <td>中間処理施設</td> <td>11km</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Co塊</td> <td>0.0m3</td> <td>中間処理施設</td> <td>0.0km</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃ブラ等</td> <td>0.0m3</td> <td>中間処理施設</td> <td>0.0km</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金属類</td> <td>0.0m3</td> <td>中間処理施設</td> <td>0.0km</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿管</td> <td>0.0m3</td> <td>最終処理施設</td> <td>0.0km</td> <td>規則に準じる</td> </tr> <tr> <td colspan="5">※ 但し数量は変更対象とする。</td> </tr> </table>	建設廃棄物の種類	数量	処理等施設 処理等施設	片道 運搬距離	処理方法 受入条件等	建設汚泥 (舗装切断等に係るもの)	0.2m3	中間処理施設	50km以内		As塊	2.9m3	中間処理施設	11km		Co塊	0.0m3	中間処理施設	0.0km		廃ブラ等	0.0m3	中間処理施設	0.0km		金属類	0.0m3	中間処理施設	0.0km		石綿管	0.0m3	最終処理施設	0.0km	規則に準じる	※ 但し数量は変更対象とする。					○
建設廃棄物の種類	数量	処理等施設 処理等施設	片道 運搬距離	処理方法 受入条件等																																									
建設汚泥 (舗装切断等に係るもの)	0.2m3	中間処理施設	50km以内																																										
As塊	2.9m3	中間処理施設	11km																																										
Co塊	0.0m3	中間処理施設	0.0km																																										
廃ブラ等	0.0m3	中間処理施設	0.0km																																										
金属類	0.0m3	中間処理施設	0.0km																																										
石綿管	0.0m3	最終処理施設	0.0km	規則に準じる																																									
※ 但し数量は変更対象とする。																																													
VI	資料の確認	① 資料の確認	1 地質調査報告書の貸与																																										
			2 測量成果簿の貸与																																										
			3 用地境界杭の確認資料提示																																										
			4 測量基準点の確認資料提示																																										
			5 地下埋設物の確認資料提示																																										
			6 設計委託成果の貸与																																										
VII	その他	① その他	1 調査・試験等に対する協力																																										
			2 工事施工後にしか設計数量が定まらない工種																																										
			3 仮設材運搬費	<table border="1"> <tr><td>名称</td><td></td></tr> <tr><td>規格</td><td></td></tr> <tr><td>所在地</td><td></td></tr> <tr><td>運搬距離</td><td></td></tr> <tr><td>備考</td><td></td></tr> </table>	名称		規格		所在地		運搬距離		備考																																
名称																																													
規格																																													
所在地																																													
運搬距離																																													
備考																																													

(工程表)

第4条 安城市工事請負契約約款第3条に記載のある工程表は、提出不要とする。
但し、他工事の現場代理人を兼務させる場合(兼務工事)は、現場代理人等届の添付書類として、兼務届及び工程表を添付すること。

(下請届)

第5条 安城市工事請負契約約款第7条に記載のある下請届は、提出不要とする。

(監督員)

第6条 標準仕様書に記載のある専任監督員、主任監督員及び総括監督員は、監督員、担当係長及び担当課長と読替えるものとする。

(予定週工程の報告)

第7条 予定週工程表を箇所図を添えて提出すること。

(建設副産物の報告)

第8条 愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱のうち、「あいくる材使用状況報告書」及び「あいくる材使用実績集約表」の提出は不要とする。

(施工計画書記載省略項目の記載指示)

第9条 施工計画書の記載省略項目の内、主要資材、施工方法の監督員による段階確認等、施工管理計画の品質管理、管理測定箇所図、写真撮影箇所図については、施工計画書に記載しなければならない。

(履行報告)

第10条 受注者は、履行報告の提出に際し、現場状況のわかる写真及び進行状況を示す図を添付しなければならない。

(電子納品)

第11条 電子納品の対象及び電子情報の作成に係る基準は別に定める安城市電子納品運用手順書(以下「手順書」という。)によるものとし、手順書に記載のない事項は国及び愛知県の基準を準用するものとする。その他疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議し、その指示に従わなければならない。

(1日未満で完了する作業の積算)

第12条 「1日未満で完了する作業の積算(以下、「1日未満積算基準」という。)」は、変更積算のみに適用する。

2 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について協議の発議を行うことができる。

3 同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。

4 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面その他協議に必要な根拠資料(日報、実際の費用が分かる資料等)を監督員に提出すること。実際の費用が分かる資料(見積書、契約書、請求書等)により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

(埋設物の事前調査)

第13条 工事施工区間に占有物(下水道・ガス・NTT等)がある場合は、事前に占有者と立ち会いを行い、埋設位置・深さ等を把握すること。

(境界杭の復旧)

第14条 工事の施工前に行う境界の確認及び境界杭の移動(逃げ、戻し)については、地権者立会いの下で行うこと。

(現場代理人の常駐)

第15条 本工事は、現場代理人の常駐を必要とする工事である。

(架空線等上空施設)

第16条 受注者は、工事着手前に架空線等上空施設の調査を行い、損傷及び感電防止等の必要な措置を講じなければならない。

(水道工事留意事項—設計配管資材等の疑義)

第17条 設計書内の配管資材等に疑義のある場合は、公告時において質疑書により確認すること。

(水道工事留意事項—設計要綱の適用)

第18条 施工は「安城市水道工事設計要綱」を標準とし、疑問を生じた場合は、受注者の判断によることなく、監督員とよく打合せをすること。

(水道工事留意事項—照査報告書の提出)

第19条 工事内容照査報告書のほか、公道分切替の所有者等へ作業内容及び復旧内容を説明し報告書を提出すること。

(水道工事留意事項—水道配水管布設の技術者配置)

第20条 水道配水管用ポリエチレン配は「水道配水管ポリエチレン配管施工講習」、の受講者が施工すること。また受講証を施工前に提示すること。
鋳鉄管耐震継手型は「日本水道協会の配水管工技能講習(小口径一般継手・耐震継手、口径500mm以上は大口径)の、
配水管技能者登録証を持つ者を配置し、登録証(有効期限5年)を施工前に提示すること。
作業は上記の登録者又は、日本ダクタイル鉄管協会のJDPA継手接合研修(耐震管呼び径450以下、口径500mm以上は耐震管呼び径500以上)の、受講証を持つ者が施工すること。また受講証を施工前に提示すること。

(水道工事留意事項—当該工事に関する給水装置工事主任技術者の指名)

第21条 給水装置工事を行う場合は、工事打合簿にて「本工事に関して、水道法第25条の4第3項各号に掲げる職務を行う者として、
〇〇〇〇を指名する。」と記し、資格証の写しを添付し提出すること。

(水道工事留意事項—水道配水管及び給水管のポリニクス二層管の仕様)

第22条 ポリニクス二層管(PP管)は口径40mm以下は材質「PE100」とする。

継手資材は、PP管同士の接続は融着継手(樹脂継手)、止水栓等との接続は改良耐震強化型継手(金属継手)とする。

(水道工事留意事項—給水引込管の口径50mmの仕様)

第23条 水道配水管用ポリエチレン管(ISO外径)とする。第一止水栓はPE挿口付リフトソール支管弁・丸ハンドルとする。

(水道工事留意事項—水道用識別マーカーの設置)

第24条 水道用識別マーカーを設置するときは、水道管上30cmの位置に垂直に設置すること。

(水道工事留意事項—バルブ操作時の事前打合せ)

第25条 水道管の洗管は、水道工務課職員で行うため、日程・通水・住民周知方法等について事前に打ち合わせをすること。

(水道工事留意事項—工事完了図面の完了時提出)

第26条 工事完了図面(しゅん工図)及びCADデータを工事完了時に提出すること。このとき、CAD図面については監督員と協議のうえ省略することができる。

(水道工事留意事項—公道分切替台帳及び写真の完了時提出)

第27条 工事完了図面(しゅん工図)及びCADデータを工事完了時に提出すること。このとき、しゅん工図はPDFデータとし、用紙サイズはA3横とし、記号や文字等が判別できる程度の解像度で、ファイル容量が大きくなりすぎないように適切に設定すること。CAD図面については監督員と協議のうえ省略することができる。

(水道工事留意事項—工事日報の提出)

第28条 水道配管作業を行うときは、作業内容等を施工日ごとに記録し、工事記録とともに完了時に提出すること。
この日報には、配管図(EF継手チェックシート等と整合すること)、作業内容、作業車両、使用資機材、現地作業員、交通整理員、
その他監督員と協議し必要と定めた事項を記録するものとする。
工事日報のある日の工事記録(該当日付欄)は、「工事日報に記す。」とし省略できるものとする。

(工事を施工しない日・時間帯)

第29条 本工事は、工事を施工しない日(時間帯)を定める工事であり、以下のとおりとする。

工事を施工しない日 日曜日、盆休み(8月11日(木)~16日(火))、年末年始(12月24日(土)~1月8日(日))

工事を施工しない時間 平日の午後5時から午前9時まで

(工期設定条件)【参考明示】

第30条 工期を参考明示する。

準備期間	40日間	
工場製作期間	日間	
実働日数	3日間	
雨休による不稼働日	2. 25日間	
工事を施工しない日	日間	
洪水日数(梅雨期及び台風期を対象)	日間	
給水申込箇所の工事間調整など	日間	
その他作業不能日	19日間	
後片付け期間	20日間	書類作成等の期間で工事実働期間ではない。